

2022年4月26日

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第7回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2022年2月3日(水) 15:00~17:30
開催場所	Web会議
参加人数	20名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、杉山委員、田中委員、千葉委員、永井委員、中島委員、西野委員、布目委員、藤澤委員、堀尾委員、山内委員、山口委員、白木委員 上塚オブザーバ、黒沢オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>1. 前回議事録確認 ・議事録案を確認し、特に質問なく承認された。</p> <p>2. 成果の発信 (1) フェーズⅡの成果取りまとめ提言書(最終報告) ・各委員・オブザーバに執筆いただいた報告書を合本し、委員間で全体を通して意見交換を行った。更にコメントや修正があれば、2/20(火)までに連絡を頂くこととした。その後、提言書の要旨を作成予定。</p> <p>(2) AESJ 2021年春の年会企画セッション ・2021年春の年会にて「地球環境問題に対する原子力発電の活用と役割に関する提言」と題し企画セッションを予定。各講演内容、総合討論の進め方等を確認した。</p> <p>(3) JAIF 輸送・貯蔵専門調査会定例会の講演 ・2/8の定例会にて本分科会の提言(フェーズⅠ 最終報告書 2020年9月、フェーズⅡ 中間報告書 2021年8月)020年9月中間報告書)について講演依頼があり、分科会にて発表内容を確認した。</p> <p>3. 今後の予定 ・次回分科会を5月に開催し、報告書の最終確認を行う予定。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第6回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年12月8日(水) 9:00～11:30
開催場所	Web会議
参加人数	19名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、杉山委員 田中委員、永井委員、中島委員、西野委員、布目委員、藤澤委員、堀尾委員、 山内委員、山口委員、白木委員 上塚オブザーバ、上塚オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 前回議事録確認 <ul style="list-style-type: none"> ・議事録案を確認し、特に質問なく承認された。 2. 成果の発信 <ol style="list-style-type: none"> (1) フェーズⅡの成果取りまとめ提言書(最終報告) <ul style="list-style-type: none"> ・最終報告書作成にあたり、目次、分担、スケジュール等を決定した。今回の提言書は、中間報告(9月公開)の記載内容をベースに本活動を通じて調査した内容等を盛り込む予定。 (2) AESJ 2021年春の年会企画セッション <ul style="list-style-type: none"> ・2021年春の年会にて「地球環境問題に対する原子力発電の活用と役割に関する提言」と題し、企画セッションを開催することが正式に決定され、総合討論の進め方について協議した。 3. 今年度の分科会活動関係 <ul style="list-style-type: none"> ・小宮山主査より、最近の地球環境対策に関する動向について、山口委員より、評価軸・レビューメカニズムについての提言内容について説明いただいた。 4. 原子力の安全性向上の発信の仕方について <ul style="list-style-type: none"> ・「日本原子力学会とマスコミとの懇談会」(第1回)(11/11)の開催報告をするとともに、その結果を踏まえ、発信のあり方について協議した。 5. 分科会の進捗フォロー等の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・実施事項とスケジュールをもとに活動進捗状況をフォローした。 6. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・日本原子力産業協会 輸送・貯蔵専門調査会会合(2/8)にて、本分科会提言書内容について講演することとなり、講演資料構成について確認した。 <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第5回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年10月20日(水) 13:30~16:30
開催場所	Web会議
参加人数	16名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、千葉委員、永井委員、中島委員、西野委員、藤澤委員、山内委員、山口委員、白木委員、上塚オブザーバ、上塚オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>【議題】</p> <p>1. 前回議事録確認 ・議事録案を確認し、特に質問なく承認された。</p> <p>2. 成果の発信 (1) 提言書(中間とりまとめ)の会長記者会見 ・8/27の会長記者会見にて、小宮山主査から分科会の成果の取りまとめ(中間報告)をご説明いただいたことが報告された。 (2) AESJ 2021年春の年会企画セッション ・春の年会企画セッションにて、本分科会の成果を報告することとし、提案書案について協議した。</p> <p>3. 今年度の分科会活動関係 ・科学的レビューメカニズムについては、諸外国における近い取組みとして、CCC(英国)の活動について深堀の調査を行い共有した。また、「CCUSとネガティブエミッション」や「持続発展社会に寄与する原子力(負荷変動能力、将来炉等)」、「SMR・MMRのゼロカーボン社会への貢献の可能性」、「原子力技術の宇宙、医療、産業利用」、「原子力の課題と対応」について、各担当委員から説明いただき議論した。山口委員より、エネルギー源の価値を測る評価軸案についてご提案いただき、意見交換を行った。</p> <p>4. 原子力の安性向上成果の発信の仕方について ・11/11に開催される「日本原子力学会とマスコミとの懇談会(第1回)」について、概要(目的、開催方法、出席者等)について説明がなされた。テーマは「原子力発電所の安全性について -既設炉の安全は向上したのか、新設炉の安全性はどうか-」。</p> <p>5. 分科会の進捗フォロー等の状況 ・実施事項とスケジュールをもとに活動進捗状況をフォローした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第4回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
会議種別	<input checked="" type="checkbox"/> 本会議 <input type="checkbox"/> 幹事会 <input type="checkbox"/> メール審議 <input type="checkbox"/> その他*() <small>*分科会、WG等具体的に記入のこと</small>
開催日時	2021年8月19日(木) 9:30~12:30
開催場所	Web会議
参加人数	21名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、杉山委員、田中委員、千葉委員、永井委員、中島委員、西野委員、布日委員、藤澤委員、堀尾委員、松尾委員、山内委員、山口委員、白木委員 上塚オブザーバ、上塚オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>【議題】</p> <p>1. 前回議事録確認 ・議事録案を確認し、特に質問なく承認された。</p> <p>2. 次期エネ基関連 (1) 基本政策分科会、原子力小委員会等の状況 本分科会にて評価軸等を検討することとなっているため、前回の分科会(6/23)以降に開催された7/30、7/13、7/21、7/30、8/4の基本設計分科会の開催状況や2050年のシナリオ分析の結果の比較について情報共有した。</p> <p>3. 今年度の分科会活動関係 (1) シナリオ分析に関連し、委員(電中研)より5/14に公開されたディスカッションペーパー「2030年温室効果ガス46%削減目標の達成は可能か？」についてご紹介いただいた。また、「水素等のCN燃料への原子力利用」や「炉型と核燃料サイクルの長期的な戦略」について、各担当委員から説明いただき議論した。</p> <p>(2) 原子力の安性向上成果の発信の仕方について ・WGの傘下にて検討している「原子力の安全性向上成果とその発信の仕方の意見交換会」の開催状況(6/21、8/3)について分科会報告を行った。また、発信の仕方についてどうあるべきか担当委員にまとめていただき議論した。</p> <p>4. 2050年CNに向けた提言(中間報告) ・当分科会で取りまとめた「地球環境問題対応・提言分科会成果の取りまとめ：2021年度提言(中間)」内容を確認するとともに、8/27の会長記者にてご説明頂くため、AESJ内の公開承認状況について確認した。</p> <p>5. 分科会の進捗フォロー等の状況 ・実施事項とスケジュールをもとに活動進捗状況をフォローした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第3回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
開催日時	2021年6月23日(水) 15:00~17:30
開催場所	Web会議
参加人数	17名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、杉山委員、田中委員、藤澤委員、永井委員、布目委員、堀尾委員、松尾委員、山内委員、山口委員、白木委員 上塚オブザーバ、上塚オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>【議題】</p> <p>1. 前回議事録確認 ・議事録案を確認し、特に質問なく承認された。</p> <p>2. 次期エネ基関連 (1) 基本政策分科会、原子力小委員会等の状況 ・本分科会にて評価軸等を検討することとなっているため、基本政策分科会関連の動向として、第43回(5/13)にてRITEの秋元委員からご説明されたシナリオ分析結果(中間報告)に対する他機関の反応について情報共有した。 (2)政策動向(CP,非化石価値等制度改革等) ・小宮山主査より、今後導入が予定されている「非化石価値取引市場」の概要と最新動向をご説明いただいた。</p> <p>3. 今年度の分科会活動関係 (1)シナリオ分析、エネルギー政策の評価軸、「科学的レビューメカニズム」関連 ・前回の議論を踏まえ評価軸の定義付けを再整理するとともに、「エネルギー白書2021」の評価軸を参考に、学会としてどのような評価軸を決めていくべきか議論をした。 ・「原子力が今後も一定程度の役割を担うためにはどのようなインセンティブが必要なのか」、「世界のシナリオ研究から見る再エネ100%のシナリオ」、「諸外国の科学的レビューメカニズムの取組み」についても各担当委員に調査いただき議論した。今後、これらの調査結果も参考に、「科学的レビューメカニズム」等のまとめ方を検討していく。</p> <p>4. 分科会の進捗フォロー等の状況 ・実施事項とスケジュールをもとに活動進捗状況をフォローした。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第2回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
開催日時	2021年5月26日(水) 12:30~15:00
開催場所	Web会議
参加人数	19名 小宮山主査、駒野幹事、尾羽委員、木村委員、下郡委員、杉山委員、田中委員、藤澤委員、永井委員、西野委員、布目委員、堀尾委員、松尾委員、山内委員、山口委員、白木委員 上塚オブザーバ、黒沢オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>【議題】</p> <p>1. 前回議事録確認・委員確認 ・議事録の内容を確認し承認した。今回の分科会より、木村委員と尾羽委員が分科会メンバーとして新任された。</p> <p>2. 次期エネルギー基本計画関連 (1) 基本政策分科会の状況 ・本分科会にて、日本の政策(ベストミックス)に合ったシナリオ選択に資する評価軸等を検討することとなっているため、基本政策分科会の開催状況(第42回 4/28、第43回 5/13)について情報共有した。 (2) 2050年カーボンニュートラルのシナリオ分析(中間報告) ・第43回の基本分科会(5/13)にてRITEの秋元氏から説明があったシナリオ分析について松尾委員から補足説明をいただいた。</p> <p>3. 今年度の分科会活動関係 (1) 2050年に向けた太陽光・風力発電の導入ポテンシャル評価 ・太陽光・風力発電の導入ポテンシャルの研究(電中研)について尾羽委員からご紹介いただいた。 (2) シナリオ分析関連、エネルギー政策の評価軸 ・評価軸の検討を始めるのにあたり、堀尾委員、永井委員にこれまでのエネルギー基本計画策定の中で3E+Sがどのように議論され記載されてきたか、エネルギー白書の評価軸を紹介いただき、評価軸をどのように決めたらよいか議論をスタートさせた。 (3) 重要日程、実施内容、担当 ・本分科会で今年度実施することとなった実施項目について担当と実施内容を確認した。今年度はシナリオ分析、日本にマッチしたCNの検討、原子力の役割と発信、原子力の安全性向上成果の発信方法の検討、エネルギー政策の科学的レビューメカニズムについて検討していく。 以上</p>
備考	

専門委員会開催報告

専門委員会名	2021年度第1回「原子力アゴラ」調査専門委員会 地球環境問題対応検討・提言分科会
開催日時	2021年4月28日(水) 8:30~11:00
開催場所	Web会議
参加人数	18名 小宮山主査、駒野幹事、下郡委員、杉山委員、田中委員、千葉委員、藤澤委員、永井委員、西野委員、布目委員、堀尾委員、松尾委員、山口委員、山内委員、白木委員 上塚オブザーバ、黒沢オブザーバ、堀オブザーバ
議事	<p>1. 分科会延長申請及び委員確認</p> <p>・アゴラ調査専門委員会が今年度より2年間延長されることになり、下部組織である本分科会も延長となったことを委員で確認した。永井委員(電中研)、堀尾委員(電中研)が分科会メンバーとして新任された。</p> <p>2. 前回議事録の確認</p> <p>・前回分科会議事録の確認が行われ、承認された。</p> <p>3. 次期エネルギー基本計画関連</p> <p>(1) 基本政策分科会及び原子力小委の状況</p> <p>・次期エネ基本に向けた国の動向、気候変動サミットの演説内容等の情報を共有した。</p> <p>(2) 発電コスト検証 WG の状況について</p> <p>・松尾委員より、発電コスト検証 WG の開催状況、議論の内容等をご説明いただいた。</p> <p>4. カーボンニュートラル実現に関するモデル分析例</p> <p>・小宮山主査より、カーボンニュートラル実現に関するモデル分析例についてご提示いただいた。分析の結果、原子力は CN 実現に貢献しうる経済合理オプションであること、多様な技術の総動員で CN を実現していく必要があるとのご意見を頂戴した。</p> <p>5. 分科会の取組について(議論)</p> <p>・分科会の延長申請に伴い、今後の分科会活動について議論した。</p> <p>・協議の結果、エネルギーシナリオの分析と提言、エネルギー政策のための評価軸の策定、他国の CN 動向の調査と日本にマッチした CN 施策、原子力の役割の発信等、ついて検討していく予定となった。</p> <p>・共通的な評価項目を設定して、全エネルギー源を横並びで評価することで、日本</p>

	の政策(ベストミックス)に合ったシナリオ選択に資する』ための、評価軸を作成することとした。 以上
備 考	